平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名　特殊電極株式会社　　上場取引所　大
コード番号　3437　URL　http://www.tokuden.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 皆川　義晴
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長　(氏名) 高島　良成　TEL 06-6401-9421

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日　配当支払開始予定日　平成23年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,715	—	99	—	125	—	70	—
23年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　55百万円　(—%)　23年3月期第2四半期　—百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.85	—
23年3月期第2四半期	—	—

(注)平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,570	3,353	51.0
23年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　3,353百万円　23年3月期　—百万円

(注)平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
24年3月期	—	3.50			
24年3月期(予想)			—	3.50	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,070	—	52	—	80	—	28	—	3.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 天津特電金属製品有限公司 、 除外 ―社 (社名)
(注)詳細は、添付資料の3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	8,010,000 株	23年3月期	8,010,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,117 株	23年3月期	148 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	8,009,090 株	23年3月期2Q	8,010,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災から復興の兆しが見られるものの、夏場の電力不足によるエネルギー問題や、欧米経済危機の財政不安による更なる円高の進行、株安を要因として、設備投資の抑制や雇用情勢等において依然として先行き不透明な状況が継続し、企業を取り巻く環境は厳しい情勢で推移してまいりました。

このような状況の中にあって当社は、営業部門におきましては、引き続き主要取引先である鉄鋼業界、自動車業界、プラント業界等の得意先に対する深耕ときめ細かなサポートによる顧客満足度の向上に努めるとともに、新規顧客の開拓に取り組み、受注獲得に鋭意努力してまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、徹底したコスト削減を推進し、業務の効率化、品質の向上に努めてまいりました。

また、研究開発などの技術部門におきましては、現有技術の刷新と次世代を担う製・商品の開発を更に推し進め、業績に繋がる展開を図ってまいりました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は3,715百万円となりました。

また、損益面におきましては、営業利益は99百万円、経常利益は125百万円、四半期純利益は70百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①　工事施工

積極的な提案型営業と徹底したコスト削減、品質管理により受注拡大に努めました結果、連続鋳造ロール工事、ダイカスト関連工事、キルン工事、現地加工工事、プラズマ粉体肉盛工事等の受注は増加しましたが、トッププレート工事の大型案件及び鉄鋼関連保全工事の受注が減少した結果、売上高は2,672百万円、セグメント利益は243百万円となりました。

②　溶接材料

直販体制の優位性を活かし、新規顧客等への販売強化を努めました結果、製品においては当社の主力であるフラックス入りワイヤの売上高は303百万円、商品のアーク溶接棒、ＴＩＧ、ＭＩＧ等の溶接材料の売上高は511百万円となり、溶接材料の合計売上高は815百万円、セグメント利益は128百万円となりました。

③　その他

製造業、特に自動車産業の減産の影響により、アルミダイカストマシーン用部品の販売、環境関連装置の受注が減少した結果、売上高は227百万円、セグメント利益は５百万円となりました。

なお、当社は第65期第１四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比の表示は記載しておりません。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

１．資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、6,570百万円となりました。

流動資産は4,878百万円、固定資産は1,691百万円、負債は3,216百万円、純資産3,353百万円となり、自己資本比率は51.0％となりました。

なお、当社は第65期第１四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比の表示は記載しておりません。

２．キャッシュフローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、1,635百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益124百万円に減価償却費の計上90百万円、賞与引当金の増加12百万円、退職給付引当金の増加７百万円、たな卸資産の減少71百万円、仕入債務の増加56百万円などの資金増加要因がありましたが、売上債権の増加73百万円、未払金の減少17百万円などがあり、145百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、投資有価証券の取得による支出１百万円と有形固定資産の取得による支出143百万円、敷金の差入による支出８百万円などがあり、153百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払額28百万円、リース債務の返済による支出９百万円、短期借入金の純減額50百万円などがあり、87百万円の支出となりました。

なお、当社は第65期第１四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比の表示は記載しておりません。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の業績予想につきましては、平成23年９月16日に公表しました通期業績予想の数値に、現時点において変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第２四半期連結累計期間において、天津特電金属製品有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,635,887
受取手形及び売掛金	2,166,712
商品及び製品	574,973
半成工事	230,803
原材料及び貯蔵品	94,551
その他	176,302
貸倒引当金	△639
流動資産合計	4,878,591
固定資産	
有形固定資産	1,423,226
無形固定資産	47,796
投資その他の資産	220,466
固定資産合計	1,691,489
資産合計	6,570,080
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,567,266
短期借入金	400,000
未払法人税等	76,477
賞与引当金	105,899
工事損失引当金	10,568
その他	190,351
流動負債合計	2,350,563
固定負債	
退職給付引当金	388,023
その他	477,855
固定負債合計	865,879
負債合計	3,216,442
純資産の部	
株主資本	
資本金	484,812
資本剰余金	394,812
利益剰余金	2,492,132
自己株式	△202
株主資本合計	3,371,555
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△5,845
為替換算調整勘定	△12,071
その他の包括利益累計額合計	△17,917
純資産合計	3,353,637
負債純資産合計	6,570,080

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	3,715,766
売上原価	2,808,478
売上総利益	907,288
販売費及び一般管理費	807,374
営業利益	99,913
営業外収益	
受取利息	806
受取配当金	1,307
貸倒引当金戻入額	3,226
雇用安定助成金	12,488
その他	11,290
営業外収益合計	29,118
営業外費用	
支払利息	3,359
その他	512
営業外費用合計	3,871
経常利益	125,161
特別損失	
固定資産売却損	7
固定資産除却損	357
特別損失合計	364
税金等調整前四半期純利益	124,796
法人税、住民税及び事業税	71,704
法人税等調整額	△17,753
法人税等合計	53,950
少数株主損益調整前四半期純利益	70,845
四半期純利益	70,845

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	70,845
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△2,790
為替換算調整勘定	△12,071
その他の包括利益合計	△14,862
四半期包括利益	55,983
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	55,983
少数株主に係る四半期包括利益	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	124,796
減価償却費	90,628
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3,226
賞与引当金の増減額（△は減少）	12,556
退職給付引当金の増減額（△は減少）	7,673
工事損失引当金の増減額（△は減少）	△301
受取利息及び受取配当金	△2,114
支払利息	3,359
為替差損益（△は益）	△5,162
有形固定資産売却損益（△は益）	7
有形固定資産除却損	357
売上債権の増減額（△は増加）	△73,950
たな卸資産の増減額（△は増加）	71,074
仕入債務の増減額（△は減少）	56,528
未払金の増減額（△は減少）	△17,094
その他	△44,820
小計	220,310
利息及び配当金の受取額	2,032
利息の支払額	△3,347
法人税等の支払額	△72,784
長期預り金の返還による支払額	△488
営業活動によるキャッシュ・フロー	145,723
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△143,309
有形固定資産の売却による収入	110
投資有価証券の取得による支出	△1,853
投資有価証券の売却による収入	50
敷金の差入による支出	△8,892
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153,895
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△50,000
リース債務の返済による支出	△9,225
自己株式の取得による支出	△169
配当金の支払額	△28,034
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,429
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,860
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△97,462
現金及び現金同等物の期首残高	1,733,349
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,635,887

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。